

第15回 木質科学シンポジウム

テーマ

「持続可能社会の構築に向けた木質科学」

趣旨

今後持続可能社会を構築する上で、再生可能バイオマス資源のうち最も蓄積量の多い木質（リグノセルロース）資源の果たす役割は極めて大きいことは言うまでもありません。そして、木質資源の持続的生産と利用に向けたシステム構築においては、全体を見渡す統合的視点と共に異分野協働的視点が必須となっています。そこで、本シンポジウムでは、植物生理学、森林科学、高分子化学の分野から、今後の木質資源の持続的生産と利用に向けたご提言をいただき、持続可能社会の構築に向けた木質科学の果たすべき役割について議論できればと思い企画させていただきました。

日時：2023年6月17日（土）14:45-17:05

場所：東京大学農学部中島ホール（対面+オンラインのハイブリッド開催）

プログラム：

14:45-14:50

開会挨拶

日本木材学会会長 土川 覚

14:50-15:30

「植物にとっての木質とは～植物生理学と木質科学の交叉点から～」

大谷美沙都（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

15:30-16:10

「資源循環型社会に向かうにはどのような行動が必要か」

黒田慶子（神戸大学名誉教授、京都大学生存圏研究所）

16:20-17:00

「高性能なバイオプラスチック創製から見た木質と木質科学者に期待すること」

岩田忠久（東京大学大学院農学生命科学研究科）

17:00-17:05

閉会挨拶

日本木材学会研究強化企画委員会委員長 梅澤俊明

本学会理事、2023-2024年度代議員以外の会員の方で、オンライン参加をご希望される方は事務局（office@jwrs.org）までお問い合わせください。
ZoomURLをお知らせいたします。